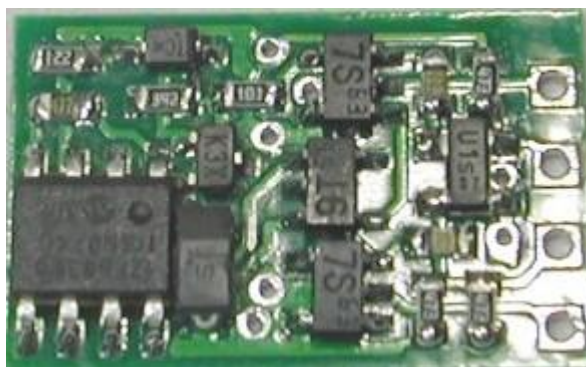


DF 1 1 r 3 説明書

2FX 両極性ファンクション専用デコーダ



Version 1.00



永末システム事務所



1.1 主な特徴

- 2FX 両極性ファンクション。どの出力も F0-F12 及び方向制御の設定が可能です。
- 各ファンクションは、1END, 2END というグルーピングが出来、その各々について一斉に消灯することが可能です。これは片運転台や、両運転台の車輛を編成に組み込むときに便利に使用できます
- 停止時減光機能（走行し始めるとヘッドライトが明るくなります）
- フルファンクション（米国型ファンクションを含む）
- 2FX の同時点灯は出来ませんのでご注意ください（破損はしません）
- FX28 対応
- CV46 の設定により、方向転換してもライトなどの方向が一時的に変更しないように出来ます。（入換え時に有効）

1.2 フル 2FX

CV35-CV40 により、FX1-FX6 のキーマップと連結面、方向制御の設定が出来るだけでなく、CV112-CV117 によって、個別の FX の照度及び以下の日本型及びアメリカ型の FX 設定が可能です。

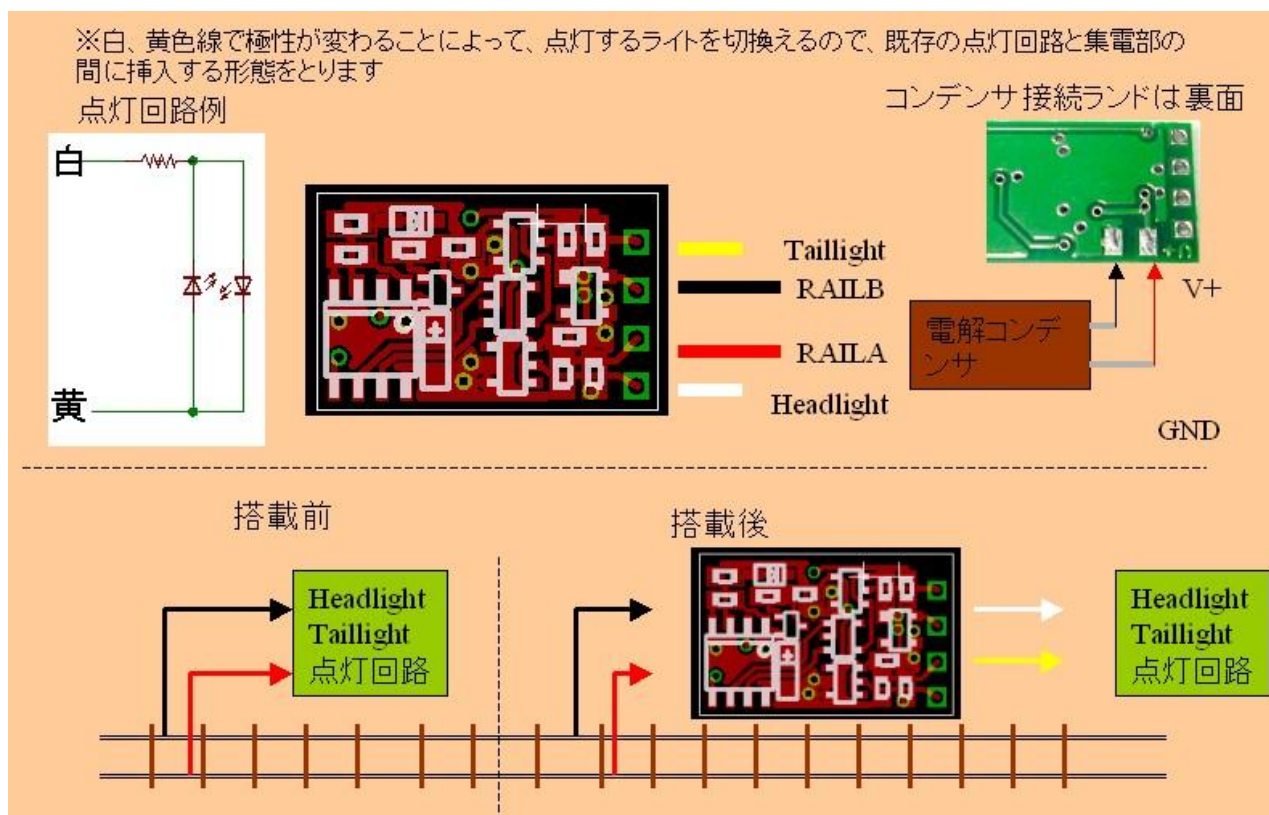
CV112-117 bit(7-4)減光値 / bit(3-0)灯火種別

- 0000 : NORMAL; 単純 on/off
- 0001 : ヘッドライト; 停止時減光、駅通過減光(CV33 で設定)
- 0010 : 右テールライト; 入換標識灯機能(CV34 で設定)
- 0011 : 左テールライト; 入換標識灯機能(CV34 で設定)
- 0100 : 室内灯; 夜行減灯(CV43 で設定)
- 0101 : 室内蛍光灯; 夜行減灯(CV43 で設定) 点灯時蛍光灯のようにちらつく
- 0110 : ヘッドライト(フェードイン/アウト) 発電機で点灯させるように徐々に明るくなる
- 0111 : 火室の表現
- 1000 : 点滅
- 1010 : フリッカー; 炎の表現
- 1011 : MARS; 回転灯 米国型(CV63 で回転開始設定)
- 1100 : 1 ストロボ; 1 回ずつ点滅 米国型(CV63 で点滅開始設定)
- 1101 : 2 ストロボ; 2 回ずつ点滅 米国型(CV63 で点滅開始設定)
- 1110 : 蛍光灯

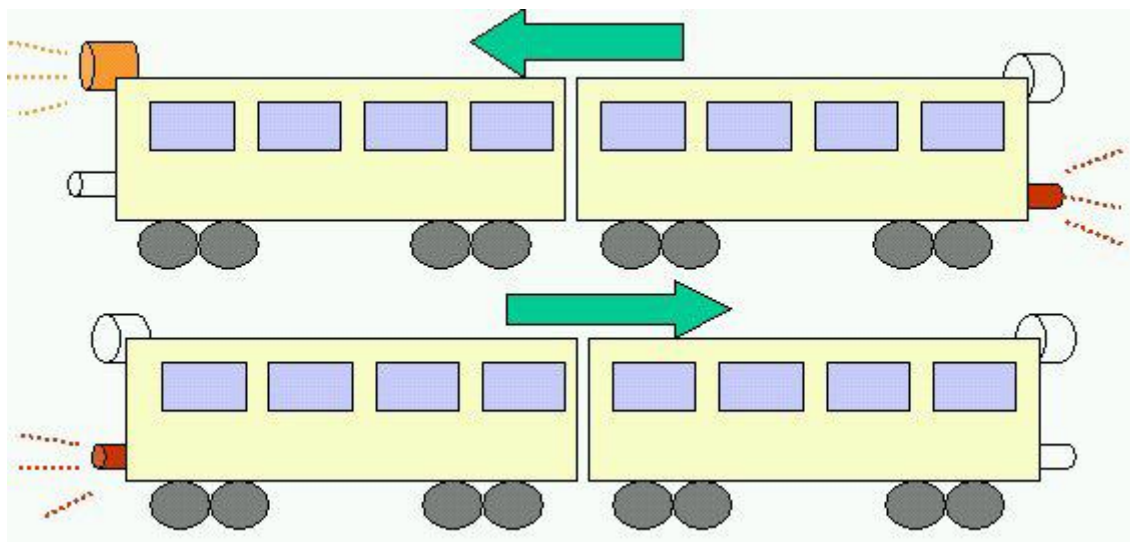


2.導入

2.1 結線方法



2.2 編成の設定



DF11 を上図のような編成に組み込む場合、以下のようにします。結線そのものは、先頭車および最後尾車は全く同じ結線をします。このとき、最後尾のヘッドライトが点灯しています。このため、最後尾のデコーダの **CV29.0=1** を設定することにより最後尾設定となります。CV29 の設定例を以下示します。

先頭車デコーダ		最後尾デコーダ	
2桁アドレス	4桁アドレス	2桁アドレス	4桁アドレス
CV29=6	CV29=38	CV29=7	CV29= 3 9

2.3 運転

F0=on で前進方向のヘッドライトが点灯します。停止しているときは減光状態となっています。スロットルをあげると、明るくなります。走行中でも、**F4=on** で減光となります。

F1=on で最後尾のテールライトが点灯します。



3.仕様

3.1 基本仕様

項目		内容
DCC 動作電圧		7 - 22V(絶対定格)
出力電流	FUNCTION *2	各 FX 50mA 以内
	合計	連続 0.12A ※連続出力は、放熱無限大の条件です
アドレス設定		1 - 10239
プログラミングモード		全プログラミングモード
総括制御		対応
CV 値リセット		CV8=103 の書き込みで出荷時状態にリセット

出荷時設定

V+	コモンプラス	
Fx1	前進時 Head Light (F0)	
Fx2	後進時 Tail Light(F1)	

電解コンデンサの使用による内部電源強化について

V+と GND 間に電解コンデンサを接続して内部電源の強化が可能です。これによって、集電不良によるライトのちらつき防止に効果があります。220uF 程度までは接続可能ですが、デコーダプログラミングができなくなる可能性があるため、十分試行してください。製品添付の 100uF/25V をご使用下さい。なお、低 ESR のものは充電電流が大きいので使用しないで下さい。

